

B-37 おしぼりの洗淨・殺菌について

広島化工 K K 技術 ○青谷美恵子 広島女子大家政 水野上与志子

目的 清淨で紅毛的なおしぼりを得るためには、その洗淨法はどのようにすればよいから知見するため、洗淨剤の相違、次亜塩素酸ソーダ及び加熱処理の効果について検討した。

方法 1) 汚染したおしぼりに付着する一般細菌を培養する。2) 各種界面活性剤（陰、陽、非 両性イオン系）溶液処理後、細菌培養する。3) 洗淨温度の相違による洗淨・殺菌効果をみる。4) 次亜塩素酸ソーダ及び酸処理の殺菌効果を試験する。

結果 1) 陽・両性イオン系については周知のように殺菌効果が認められた。陰イオン系においても一般細菌の発育抑制効果があると思える。非イオン系については菌の発育抑制及び殺菌効果は認められなかった。2) 予洗の除菌効果も充分認められた。
・漂白剤（次亜塩素酸ソーダ、過酸化水素）併用の効果は認められるが、無菌化することほどきなかった。3) 熱処理による殺菌効果は大きい。